

# 助言受け止め自ら成長

## 私はエコアナウンサー～SDGsをジブンゴトに～

桜田 彩子 著

国連が掲げた持続可能な開発目標（SDGs）を身の回りの生活に組み込んで理解し、「ジブンゴト」として行動しよう。

フリーアナウンサーの著者が、エコロジー（環境）とエコノミー（経済）とを両立させた持続可能な社会の実現をサポートする「エコアナウンサー」の活動をつづつた。

著者は1998年から5年半、宮城県の民放テレビで天気リポートを担当し、年々早まる桜の開花や30度超えの猛暑続きに気候変動を肌で感じた。東北

大大学院でメディアリテラシーを学び、2007年に上京してからは地球温暖化防止、生物多様性保全などへの取り組みを支援している。

本書は「娘に語るSDGs」として書き始められ、働きがいのある仕事、朗読ボランティアの活動など、自らの歩みがSDGsの17の目標にどうつながるかを伝える。国際機関や金融機関のSDGsへの姿勢、脱炭素を目指す企業担当者へのインタビュー、関係団体や機関の一覧も盛り込まれ、身近なSDGs入門書にもなっている。

著者は静岡県生まれ。能代市、仙台市で育つ。宮城学院女子大を卒業後、フリーアナウンサーとして活動。現在はNPO法人サステナビリティ日本フォーラム運営委員兼事務局次長などを務める。本書を通じて著者が配偶者、同僚、知人など周囲の助言を誠実に受け止め、自らの成長につなげているのが印象的だ。

本の泉社03(5810)1  
58111320E。



桜田彩子